

道路アセットマネジメント政策(橋梁調査会)講座



京都大学

設置期間 2019年4月1日～2022年3月31日

寄附者 一般財団法人 橋梁調査会


 一般財団法人 橋梁調査会
 Japan Bridge Engineering Center
<http://www.jbec.or.jp/>

「効果的・効率的なアセットマネジメント方策の立案」



教員

教授	山本 貴士	特任教授	小林 潔司
特定教授	玉越 隆史	客員准教授	青木 一也
特命教授	田村 敬一	特命教授	中谷 昌一

シンポジウム・講演会

- ・アセットマネジメント講習会 2019
「次世代アセットマネジメント - 実装そして展開へ -」
- ・CAP2018 Creative academic and business platform
between Vietnam and Japan
「Road Infrastructure Asset Management」 H30.9.26 ～ 27

出版物

- ・「実践 道路アセットマネジメント入門」
ー継続的改善を実現するためのマネジメントの基本ー
編著：小林潔司、共著：中谷昌一、玉越隆史、青木一也、
竹末直樹
- ・国際標準型アセットマネジメントの方法
編著：小林潔司、田村敬一、藤木修
- ・実践 インフラ資産のアセットマネジメントの方法
編著：小林潔司、田村敬一
- ・International Symposium on Infrastructure Asset
Management(SIAM 2016) Editors: Kiyoshi Kobayashi,
Keiichi Tamura, Kiyoyuki Kaito

目的

わが国の道路等公共施設は、その多くが高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後、道路橋を始めとする構造物の老朽化が急速に進行し、補修や更新が増加すると想定されています。このため、例えば道路橋については計画的な点検、診断、補修、更新などを通じた予防的な保全によってライフサイクルコスト縮減を目指した取り組みも始まっていますが、多様な道路構造物のそれぞれに対して最適な点検・診断の品質水準の設定とその実現手法および、突発的事故等の効果的なリスク低減策の確立、それらも含め、アセットマネジメントの目的や目標に照らしての、維持管理行為の的確な効果の評価・計測手法の確立など実現すべき多くの課題が残されています。社会資本全般について、地域で持続可能なマネジメントの取組みが十分なされている状況までは至っていません。

このような厳しい状況のなか、国民が安全で安心した暮らしを確保していくためには、行政の政策についても、より幅広い観点から持続可能なアセットマネジメントの方策を立案していくことが求められています。

本講座では、従来の道路に関する維持管理の状況を把握・評価した上で、道路管理等の道路政策の一環として、アセットマネジメントに関する国際規格である ISO55000 シリーズの内容にも準拠し、今後のより高度で効果的・効率的なアセットマネジメントの立案及び実施方策に関する研究と教育を行います。研究・教育の実施においては、経営管理研究部国土マネジメント客員講座及び工学研究科等の学内関連部局、政府・地方自治体等の行政組織、ならびに他の関連する研究機関などと協力関係を保持し、総合的なマネジメント政策の提言を行っていきます。